

輸送動向について(9月分)

平成19年10月

1. 輸送概況

今月は、7月16日に発生した新潟県中越沖地震の影響により不通となっていた信越線柿崎駅～柏崎駅間が9月13日に59日ぶりで運転再開となったものの、上旬に台風9号の上陸、中旬には東北地方北部を中心とした大雨による輸送障害が発生し、月全体では高速貨533本、専貨27本が運休した。

荷動きについては、下旬に上期決算を控えた需要の盛り上がりがあったものの、中旬までは輸送障害の影響を大きく受け、低調に推移した。

コンテナ貨物では、政府米の強勢な出荷が続く農産品・青果物及び自動車部品などが前年を上回ったものの、輸送障害の影響を受けた食料工業品、紙・パルプ、積合せ貨物などが前年を大きく下回り、全体では前年比96.6%となった。

車扱貨物では、10月の仕切り価格改定を見越した仮需が発生した他、冬場に向けた灯油の積み増しが始まった石油が前年を上回ったものの、セメント、石灰石などが前年を下回り、全体では前年比95.8%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,918	1,987	96.6%	11,248	11,265	99.8%
車 扱	943	985	95.8%	5,687	6,170	92.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	223	215	8	103.7%
	化学工業品	183	196	-13	93.4%
	化学薬品	134	140	-6	95.7%
	食料工業品	277	291	-14	95.2%
	紙・パルプ	300	313	-13	95.8%
	他工業品	147	140	7	105.0%
	積合せ貨物	201	220	-19	91.4%
	自動車部品	66	57	9	115.8%
	家電・情報機器	33	38	-5	86.8%
	エコ関連物資	28	35	-7	80.0%
	その他	326	342	-16	95.3%
	コンテナ計	1,918	1,987	-69	96.6%
車 扱	石油	577	563	14	102.4%
	セメント	68	94	-26	71.9%
	石灰石	66	71	-5	93.3%
	車両	108	106	2	101.5%
	その他	125	150	-25	83.4%
	車扱計	943	985	-42	95.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)